

旅行取扱状況の概観（平成29年1月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比99.2%と前年を下回ったが、学生団体は同134.7%と前年を上回り、団体旅行合計で同111.5%と前年を上回った。個人旅行については前年比82.2%と前年を下回ったが、企画旅行については同109.0%と前年を上回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比101.3%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比100.8%と前年を上回ったが、学生団体は同97.3%と前年を下回り、団体旅行合計で同98.6%と前年を下回った。企画旅行については前年比99.5%と前年を下回ったが、個人旅行については同104.1%と前年を上回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比100.1%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比123.7%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の1月の総取扱額は前年比101.2%となり、前年を上回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は視察や研修旅行などの取扱人数の減少により、前年比98.6%と前年下回ったが、学生団体は修学旅行や語学研修、留学などの取扱額の増加により、同134.7%と前年を上回った。

この結果、海外団体旅行合計で同111.2%と前年を上回った。

国内団体については、一般団体はスポーツイベントなどの取扱人数が減少したが、その他の大会や会議の取扱人数が増加し、前年比100.2%と前年並となり、学生団体は修学旅行などの取扱人数の減少により、同97.3%と前年を下回った。

この結果、国内団体旅行合計で同98.3%と前年を下回った。

外国人旅行は前年比111.2%と前年を上回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、北海道、沖縄、信州、伊勢志摩方面が前年を上回り、取扱額で前年比113.2%と前年を上回った。

ホリデイについては、方面別取扱人数の状況では、ハワイ、アメリカ、アジア、ヨーロッパ、オセアニア方面が前年を上回り、取扱額で前年比107.2%と前年を上回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、テロ等の影響を受けていたヨーロッパ方面は一昨年を上回るまで復調し、前年比110.3%と前年を上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、首都圏発の北海道方面の道東と道北、沖縄などが堅調に推移したが、他の方面が伸び悩み、前年比95.0%と前年を下回った。

バス旅行部門は、首都圏地区の日帰り旅行が好調に推移したが、宿泊を伴う関西方面が軟調であり、また前年の「地域創生交付金事業」の影響もあり、前年比84.7%と前年を下回った。

テーマ旅行部門は、海外旅行の「ひとり旅」や「あるく」などが好調であり、前年比105.1%と前年を上回った。

以上